



「五所川原立佞武多」 25周年！ 新たなる舞台へ！

令和五年
五所川原立佞武多
「素戔鳴尊(すさのおのみこと)」

世界では、感染症が猛威を振るい、異常気象による災害も頻発している。

五所川原市においても過去、大火や水害など多くの困難を乗り越えてきたが厄災がこれ以上降りかからないよう願いをこめ、八岐大蛇を退治する場面を表現した。

制作者 鶴谷 昭法

*まつりの詳細は4ページから掲載。

今月号の表紙

今月号の表紙は、6月に行われた各地域の虫送り運行の様子です。

◎相内の虫送り

6月10日、相内青年団を中心とした住民の皆さんが台車に乗せた大虫を先頭に、肩に担いだ小虫、荒馬、太刀振り、囃子方が地区内を練り歩きました。佐藤洋二団長は「自分たちが盛り上げて、若い世代に伝えながら、続けていければ」と話しました。

◎金木町虫送り

6月18日、金木さなぶり荒馬踊保存会の皆さんが、

〔4年ぶりに復活！ 各地域の虫送り運行〕

荒馬、太刀振り、獅子舞を披露しながら町内を練り歩きました。角田金光会長は「4年ぶりに実施することができて、とても満足している」と話しました。

◎奥津軽虫と火まつり

6月17日、五所川原青年会議所が中心となり、岩木川河川敷で山車の運行や囃子・獅子舞などの演舞、お焚き上げ、神事などが行われました。最後には大虫に火がつけられ、花火とともに昇天していきました。工藤智哉実行委員長は「不安だったが多くの方が訪れてくれたので、開催してよかった」と話しました。